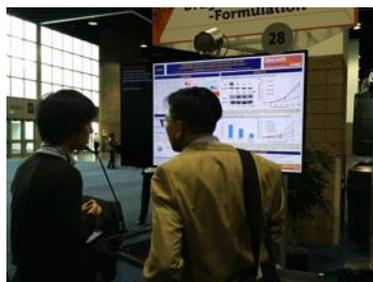


米国科学者薬剤師会議にてポスター発表

本学会は米国コロラド州デンバーにおいて開催されたものであり、製剤、開発、分析、薬物動態、薬剤に関する多くの分野の研究結果が発表された。自身は昨年12月に、米国で開催された専門分野であるドラッグデリバリーシステム(DDS)に焦点を当てた学会に参加し、知識をより深めることができた。それと趣向が変わり、本学会では異分野の最先端の報告や知見に触れられたことが最大の収穫であり、周辺視野の広がりを感じている。また、ポスター発表も有意義な時間となった。自身の研究では siRNA という核酸の一種と加齢黄斑変性症という疾患の治療薬を1つの脂質ナノカプセルに封入しているが、その封入する方法について満足のいくディスカッションができた。上記の今年の学会では議論の際、上手く表現できず、もどかしい場面が多かった。

しかし、本発表では自分が主張したいことを表現することができ、相手に十分理解していただいた手応えを感じた。発表の機会をいただいたことに心から感謝すると同時に、将来国際的に活躍できる研究者を目指し、今後もより一層、自己研鑽に励みたいと思う。



薬食生命科学総合学府 薬科学専攻 医薬生命化学教室
博士課程前期2年 橋本正寛